# シラバス参照

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目ナンバー | RMGT3902 | | |
| 科目名 | インターンシップ | | |
| 担当教員 | 宮脇　健 | | |
| 対象学年 | 3年,4年 | 開講学期 | 通年 |
| 曜日・時限 | 金５ | | |
| 講義室 | 1313,1306 | 単位区分 | 選 |
| 授業形態 | 演習 | 単位数 | 2 |
| 科目大分類 | 専門 | | |
| 科目中分類 | 専門展開 | | |
| 科目小分類 | キャリア | | |
| 科目の位置付け（開発能力） | ■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連<br>DP2-B[自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢] 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。<br>DP7-C[他者理解・倫理観・公共心] 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。<br>DP6-K[表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。<br>DP8-M[省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。<br>■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連<br>B1 自己啓発（30%）<br>C1 倫理的思考・社会認識（20%）<br>K1 ライティングコミュニケーション（10%）<br>K2 オーラルコミュニケーション（20%）<br>M1 統合的・応用学修（20%） | | |
| 教員の実務経験 | 担当教員2名は官公庁や企業との研究活動や社会実践活動を行っています。様々な職業の方と活動して培った経験をもとに、演習での実践や学修方法を還元します。また、中小企業診断士の資格を持つ外部講師の先生から、企業・業界研究の方法を学び、企業や大学でのマナー講師を務めてきた先生からはインターンシップ先での就業に必要となるマインドとスキルを学び、インターンプでの就業に備えます。また、その経験を今後のキャリア教育に活かすために教員のキャリア教育の経験に基づき、報告書の作成を指導することで、将来に活きる「現場知」を涵養する予定です。 | | |
| 成績ターゲット区分 | ■成績ターゲット　能力開発の目標とステージ<br>3　発展期　～　4　定着期 | | |
| 科目概要・キーワード | 授業形態はオンライン（ライブ型とオンデマンド型）の併用で行います。企業研究を履修した学生が、業界研究や企業研究などのキャリア形成の学びの集大成として、実際の企業や自治体で一定期間の就業経験を積むことで、それまでの危機管理についての学習の成果を活かすべく実知体験をする場を設けます。インターンシップで得られた就業体験をレポートとして作成し、プレゼンテーションをしながら振り返りと講評の機会を持つことで、キャリア形成に活かすことを目標とします。授業形態は集中による企業研修の振り返りの演習となります。<br>■キーワード　就業、キャリア | | |
| 授業の趣旨 | ■副題<br>実際の企業や自治体での就業体験とその振り返りを通して、将来のキャリア形成に活かすことを目的として行います。 | | |

| | |
|---|---|
| | ■授業の目的<br>危機管理学部での専門的な学修を社会で還元するためには、その学修を活かすためのキャリアを理解する必要があります。このキャリアについてはついになる企業研究で行ったが、そこで涵養された能力を発揮するために、実際の企業の現場、自治体の現場での就業体験という実践を行います。そのため、前段階であるインターンシップ先の企業・業界研究を行い理解を深め、企業・業界の特徴を理解した上で就業体験を行い、実際に働くことを通して、自分の描いていたキャリアについて、再度その理解を深遠化することを目的としています。また、この就業体験を通じて得たキャリア形成に関する知見を今後の自身のキャリア形成に還元出来るようになることを目的としています。<br>■授業のポイント<br>企業研究の際に獲得した素養を活かすための実践として就業体験を行い、自分の社会に出るために必要な能力がどの程度涵養されているのか、社会との指標をはかり、働くことの意義について再検討するためのキャリア教育を行います。 |
| 総合到達目標 | 危機管理学部で学んだ知識を社会の実践に活かすために、インターンシップの現場で実践を行い、今後の将来のキャリアについて再考し、就業のためのスキルと態度を習得する。<br>■働く意義について説明できる。<br>■自分の将来のキャリアについて他者に説明できる。<br>■就業体験で得られた知識や経験に基づき、就業に関するキャリア形成を選択することができる。<br>■就業のために必要なマナーや素養を身につけることができる。<br>■自分の将来についてのプレゼンテーションスキルを身に付けることができる。 |
| 成績評価方法 | ■中間報告・報告会用のPPT：2回（20%） 適応ルーブリック B1、C１、K1、M1<br>（評価の観点）インターンシップ先の企業研究の報告用PPTの出来栄え（形式要件と内容）、就業体験報告会用のPPTの出来栄え（形式要件と内容）を評価します。<br>（フィードバック）授業での講評によりフィードバックを行います。<br>■中間報告・報告会での報告：2回（30%） 適応ルーブリック B1、C１、K1、K2、<br>（評価の観点）報告会でのプレゼンテーションの出来、質疑応答の出来を評価します。<br>（フィードバック）中間報告の場合はその授業の際に、報告会の場合はその時の講評によりフィードバックを行います。<br>■事前のグループワークへの参加度：（10回）30%<br>（評価の観点）報告会に限らず集中講義中に行われるグループワークの参加度を教員が評価項目に基づきチェックを行います。<br>（フィードバック）グループワークでの関与が低ければ、適宜授業中に学生に改善の指摘を行うことでフィードバックを行います。<br>■インターンシップ報告書の提出：1回（20%）<br>（評価の観点）インターンシップ後に所定のフォーマットに基づいた報告書を作成してもらい、事前に集中講義で説明した形式要件・記載内容に関する基準に基づき評価を行います。<br>（フィードバック）提出後、教員が内容を確認後、本人にコメントをすることで形式や問題点についてフィードバックを行い、再度修正して提出してもらいます。<br>授業の初回に評価方法についての変更点を説明いたします。 |
| 履修条件 | 企業研究を履修した学生のみが受講できる。 |
| 履修上の注意点 | 夏休みの間に行われるインターンシップの就業体験（最低5日間）に参加できる期間を確保する。<br>集中講義が7月に企業研究と並行して行われるため、その日程も確保する。 |
| 授業内容 | |

| 回 | 内容 |
|---|---|
| 1 | ①授業テーマ<br>インターンシップ事前説明 ガイダンス<br>②授業概要<br>インターンシップの授業を行うにあたり、本授業の位置づけを再度受講生に説明します。受講生はインターンシップ（就業体験）の意義や目的について自身のキャリアに紐づけて考えることができるようになる(B1、C1、K1、M1)。<br>③予習（120分）<br>事前に配布されるインターンシップの資料を読んでおく。<br>④復習(120分)<br>キャリアデザインシートに記入した内容を再度読みなおす。 |
| 2 | ①授業テーマ<br>インターンシップ先の企業・業界研究<br>②授業概要<br>インターンシップ先の企業・自治体での就業体験を行うために、受け入れ先の企業・自治体の企業研究を行います。その為に、中小企業診断士として、企業・業界に関わってきた外部講師の先生から、本講義で行う企業研究の方法に関する講義を受けます。講義 |

| | |
|---|---|
| | を受けて、企業の特徴を理解し、自分でその就業体験での課題や目標を設定できるようになる(B1、C1、K1、M1)。<br>③予習（120分）<br>　事前に配布されるインターンシップの就業日誌の記入方法例、学びの目的などの項目について読んでおく。<br>④復習(120分)<br>キャリアデザインシートに記入した内容を再度読みなおす。 |
| 3 | ①授業テーマ<br>　社会人マナー講座（１）<br>②授業概要<br>　インターンシップ先での就業体験をするためには、社会人としてのマナーや規範について理解する必要がある。そのため、本授業回では、企業や大学でマナー講座を担当されてきた外部講師の先生からの講義を受けて、就業するにあたり求められる必要なマナーや規範を学習し、その技法を獲得できるようにする（B1、C1、K2）。演習形式で学んだマナーが出来ているのか実践も行います。<br>③予習（120分）<br>　事前に配布されたマナー講座の資料を読みこんでくる。<br>④復習（120分）<br>　マナー講座で外部講師の先生から指摘された課題をノートに記載する。 |
| 4 | ①授業テーマ<br>　社会人マナー講座（２）<br>②授業概要<br>　インターンシップ先での就業体験をするためには、社会人としてのマナーや規範について理解する必要がある。そのため、本授業回では、企業や大学でマナー講座を担当されてきた外部講師の先生からの講義を受けて、就業するにあたり求められる必要なマナーや規範を学習し、その技法を獲得できるようにする（B1、C1、K2）。演習形式で学んだマナーが出来ているのか実践も行います。<br>③予習（120分）<br>　事前に配布されたマナー講座の資料を読みこんでくる。<br>④復習（120分）<br>　マナー講座で外部講師の先生から指摘された課題をノートに記載する。 |
| 5 | ①授業テーマ<br>インターンシップ先の企業・業界研究<br>②授業概要<br>インターンシップ先の企業・自治体での就業体験を行うために、受け入れ先の企業・自治体グループごとに企業研究を行い、その企業・自治体に関する特徴などをPPTにまとめ、各インターンプ先ごとに報告を行う(B1、C1、K２、M1)。<br>③予習（120分）<br>　事前に提示したPPTのフォーマットの基づき各インターンシップ先ごとにPPTの作成を行う。<br>④復習(120分)<br>PPTによる報告の際に教員・学生から受けた指摘事項に関するメモを読み、就業の際の課題をまとめる。 |
| 6 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ「就業体験」（１）<br>②授業概要<br>　受入れ先の企業・自治体での就業体験を行い、自身の将来の就職先、キャリアについて検討し、社会で学ぶことの意義とキャリア選択について説明できるようになる（B1、C1、K１、M1）。 |
| 7 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ「就業体験」（２）<br>②授業概要<br>　受入れ先の企業・自治体での就業体験を行い、自身の将来の就職先、キャリアについて検討し、社会で学ぶことの意義とキャリア選択について説明できるようになる（B1、C1、K１、M1）。 |
| 8 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ「就業体験」（３）<br>②授業概要<br>　受入れ先の企業・自治体での就業体験を行い、自身の将来の就職先、キャリアについて検討し、社会で学ぶことの意義とキャリア選択について説明できるようになる（B1、C1、K１、M1）。 |
| | |

| | |
|---|---|
| 9 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ「就業体験」（４）<br>②授業概要<br>　受入れ先の企業・自治体での就業体験を行い、自身の将来の就職先、キャリアについて検討し、社会で学ぶことの意義とキャリア選択について説明できるようになる（B1、C1、K１、M1）。 |
| 10 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ「就業体験」（５）<br>②授業概要<br>　受入れ先の企業・自治体での就業体験を行い、自身の将来の就職先、キャリアについて検討し、社会で学ぶことの意義とキャリア選択について説明できるようになる（B1、C1、K１、M1）。 |
| 11 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ事後報告に向けた企業・業界研究（１）<br>②授業概要<br>　インターンシップ先での就業体験を行った経験から学んだ、キャリアに関する気づき、社会人としてはたくことの意義、受入れ先の企業の特徴などについてのPPTを作成することで、的確なキャリア選択をする材料を得ることができるようになる（B1、C1、K１、K2、M1）。PPTの作成作業では各グループに対して教員と外部講師が進捗状況をチェックし確認を行う。<br>③予習（120分）<br>　事前に配布された報告会用のPPTのフォーマットを確認し各グループごとにPPTの割り当てを考える。<br>④復習（120分）<br>　報告会ようのPPTについて学生、外部講師、教員から指摘をされたことを踏まえて修正をおこなう。 |
| 12 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ事後報告に向けた企業・業界研究（２）<br>②授業概要<br>　インターンシップ先での就業体験を行った経験から学んだ、キャリアに関する気づき、社会人としてはたくことの意義、受入れ先の企業の特徴などについてのPPTを作成することで、的確なキャリア選択をする材料を得ることができるようになる（B1、C1、K１、K2、M1）。PPTの作成作業では各グループに対して教員と外部講師が進捗状況をチェックし確認を行う。<br>③予習（120分）<br>　事前に配布された報告会用のPPTのフォーマットを確認し各グループごとにPPTの割り当てを考える。<br>④復習（120分）<br>　報告会ようのPPTについて学生、外部講師、教員から指摘をされたことを踏まえて修正をおこなう。 |
| 13 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ事後報告に向けた企業・業界研究（３）<br>②授業概要<br>　インターンシップ先での就業体験を行った経験から学んだ、キャリアに関する気づき、社会人としてはたくことの意義、受入れ先の企業の特徴などについてのPPTの中間報告を行うことで、自分の将来のキャリアについて説明できるようになる（B1、C1、K１、K2、M1）。教員と外部講師は講評を行い、学生はピア評価を行うことで、PPTと報告内容の確認を行う。<br>③予習（120分）<br>　報告会用のPPTのフォーマットと評価シートを確認し、予行練習を行う。<br>④復習（120分）<br>　報告会用のPPTについて学生、外部講師、教員から指摘をされたことを踏まえて修正をおこなう。 |
| 14 | ①授業テーマ<br>　インターンシップ事後報告会（１）<br>②授業概要<br>　インターンシップ先での就業体験を行った経験から学んだ、キャリアに関する気づき、社会人としてはたくことの意義、受入れ先の企業の特徴などについて、受け入れ先企業、外部講師、担当教員の前でPPTの報告会（各グループ5分、質疑３分）を行うことで、自分の将来のキャリアについて説明できるようになる（B1、C1、K１、K2、M1）。<br>③予習（120分） |

| | | |
|---|---|---|
| | | 報告会用のPPTのフォーマットと評価シートを確認し、予行練習を行う。<br>④復習（120分）<br>報告会でインターンシップ先の企業、外部講師、学生、教員、から指摘をされたことをキャリアデザインシートにメモをする。 |
| | 15 | ①授業テーマ<br>インターンシップ事後報告会（２）<br>②授業概要<br>インターンシップ先での就業体験を行った経験から学んだ、キャリアに関する気づき、社会人としてはたくことの意義、受入れ先の企業の特徴などについて、受け入れ先企業、外部講師、担当教員の前でPPTの報告会（各グループ5分、質疑３分）を行うことで、自分の将来のキャリアについて説明できるようになる（B1、C1、K１、K2、M1）。<br>③予習（120分）<br>報告会用のPPTのフォーマットと評価シートを確認し、予行練習を行う。<br>④復習（120分）<br>報告会でインターンシップ先の企業、外部講師、学生、教員、から指摘をされたことをキャリアデザインシートにメモをする。 |
| 関連科目 | 企業研究 (RMGT 3901) | |
| 教科書 | 特にありません。 | |
| 参考書・参考ＵＲＬ | 特にありません。昨年度のインターンシップ報告書など必要な資料等は授業時に指示します。 | |
| 連絡先・オフィスアワー | ■連絡先　開講時に告知します。<br>■オフィスアワー　火曜日３限。 | |
| 研究比率 | ■危機管理領域との対比<br>災害マネジメント領域：25%、パブリックセキィリティ領域：25%、グローバルセキュリティ領域：25%、情報セキュリティ領域：25%<br>■危機管理学と法学のバランス<br>危機管理学：90%、法学：10% | |

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.